

2017年11月現在



LEXUS 3T5

補修塗装工程

クロマックス[®] プロベースコート

ボカシ塗装

Cromax[®] Pro
BASECOAT

AN AXALTA COATING SYSTEMS BRAND

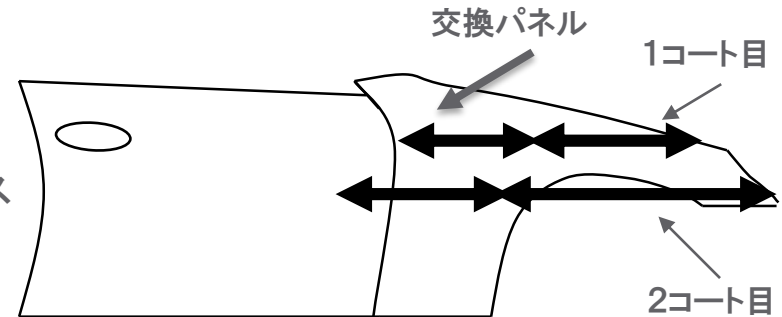
LEXUS 3T5 補修塗装工程 クロマックス®プロ ベースコート 塗装



カラーベース塗装 (1回目)



クロマックス®プロベースコート 3T5カラーベース
WB2075アクティベーター 5%混合
コントローラー: 30~50%



エア圧: 1.5-1.8バール 口径: 1.2-1.4mm
ガン距離: 10-15cm、パターン重ね: 70%
交換パネル側から各コートを広げながら2コートボカシ塗装



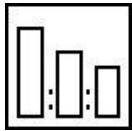
コート間フラッシュタイム: なし
2コート後フラッシュオフタイム: 完全に艶が無くなるまで

- 注意:
- ・オーバースプレーを避ける為、スプレーガンをボカシ側へ向けずに塗装する
また、必要に応じて隣接パネルをマスキングする
 - ・ガン距離を近くし、スプレーガンをボカシ側へ引く様に塗装する
 - ・必要に応じてタッククロスでオーバーミストを丁寧に除去する
 - ・補修箇所は必ずバリューシェードシステムを使用
 - ・カラーベースの隠蔽性が悪い為、カラーベースを2回に分けて塗装する
 - ・WB2045を使用する場合は上限30%まで

LEXUS 3T5 補修塗装工程 クロマックス®プロ ベースコート 塗装



カラーベース塗装 (2回目)



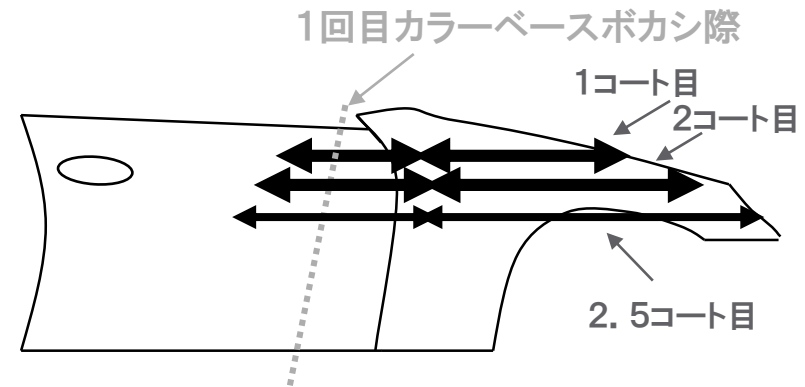
クロマックス®プロベースコート 3T5カラーベース
WB2075アクティベーター 5%混合
コントローラー: 30~50%



エア圧: 1.5~1.8バール 口径: 1.2-1.4mm
ガン距離: 10-15cm、パターン重ね: 70%
交換パネル側から各コートを広げながら2.5コートボカシ塗装



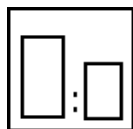
コート間フラッシュタイム: なし
最終フラッシュタイム: 完全に艶が無くなるまで
強制乾燥: 10-15分/60°C



- 注意:
- ・オーバースプレーを避ける為、スプレーガンをボカシ側へ向けずに塗装する
 - ・ガン距離を近くし、スプレーガンをボカシ側へ引く様に塗装する
 - ・1回目カラーベース塗装部よりも広げて塗装する
 - ・必要に応じてタッククロスでオーバーミストを丁寧に除去すること タッククロスでオーバーミストを除去できない場合はP2000~P3000で丁寧にサンディングし除去する
 - ・WB2045を使用する場合は上限30%まで

LEXUS 3T5 補修塗装工程 クロマックス®プロ ベースコート 塗装

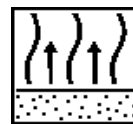
パールベース塗装



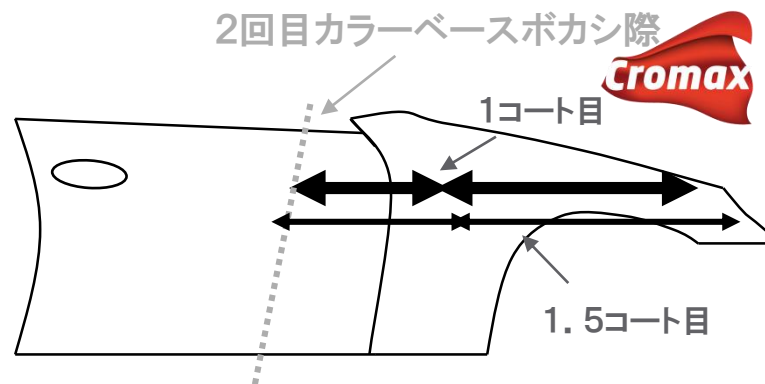
クロマックス®プロ ベースコート 3T5パールベース
コントローラー: 30%~50%



エア圧: 1~1.5パール 口径: 1.2-1.4mm
ガン距離: 15-20cm、パターン重ね: 70%
交換パネル側から各コートをやや広げながら1.5コートボカシ塗装



コート間フラッシュタイム: なし
最終フラッシュタイム: 完全に艶が無くなるまで



- 注意:
- ・オーバースプレーを避ける為、スプレーガンをボカシ側へ向けずに塗装する
 - ・スプレーガンをボカシ側へ引く様に塗装する
 - ・パールベースはミディアムウェットコートで塗装、余りウェットにし過ぎない
 - ・パールベースボカシ範囲は、カラーベースボカシ際と同じ範囲、もしくは僅かに超える範囲にする
 - ・最終0.5コートはガン距離を若干離して塗装
 - ・必要に応じてタッククロスでオーバーミストを丁寧に除去すること タッククロスでオーバーミストを除去できない場合はP2000~P3000で丁寧にサンディングし除去する
 - ・WB2045を使用する場合は上限30%まで

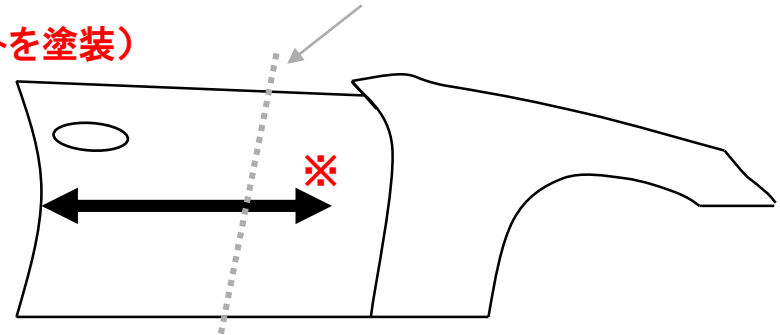
LEXUS 3T5 補修塗装工程 クロマックス® プロ ベースコート 塗装



クリアーコート塗装

(カラークリアーコート塗装の前に通常のクリアーコートを塗装)

パールベースボカシ際



クロマックス® クリアーコート
混合比は各クリアーTDS参照



エアーク: 2パール 口径: 1.2-1.4mm
ガン距離: 15-20cm、パターン重ね: 70%
ボカシ部分の外側からパールベースボカシ際を若干越えて1コートボカシ塗装



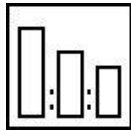
コート間フラッシュタイム: なし

※重要: クリアーコート塗装はパールベースボカシ範囲を超えて均一に塗装し、次に塗装するカラークリアーの肌が平滑になるように注意する

LEXUS 3T5 補修塗装工程 クロマックス® プロ ベースコート 塗装



カラークリヤーコート塗装 (カラークリヤーはクリヤーコートと同じクリヤー使用)



クロマックス® 3T5カラークリヤーコート
混合比は各クリヤーTDS参照



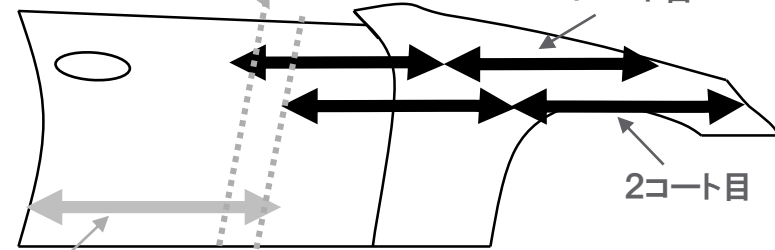
エア圧: 2パール 口径: 1.2-1.4mm
ガン距離: 15-20cm、パターン重ね: 70%
交換パネル側からパールベースボカシ際を若干越えて1コートボカシ塗装
2コート目はカラーベースボカシ際と同じ範囲に1コートボカシ塗装
トリガーは常に握り ボカシ部に向けて弧を描くように塗装



コート間フラッシュタイム: 各クリヤーTDS参照

パールベースボカシ際

1コート目



2コート目

クリヤーコート塗装範囲

カラーベースボカシ際

- 注意:
- ・カラークリヤーのムラが発生し易い為、ガン距離を余り近づけて塗装しない
 - ・次に塗装するクリヤーコートの肌が平滑になるように、カラークリヤー2コート目塗装後のフラッシュタイムは取らない

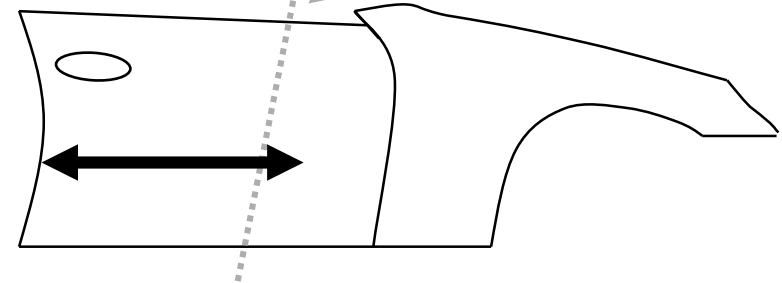
LEXUS 3T5 補修塗装工程 クロマックス® プロ ベースコート 塗装



クリヤーコート塗装

(カラークリヤーのボカシ箇所をクリヤーにて均一に
馴染ませ肌を平滑にする。)

カラークリヤーボカシ際



クロマックス® クリヤーコート
混合比は各クリヤーTDS参照



エア圧: 2バール 口径: 1.2-1.4mm
ガン距離: 15-20cm、パターン重ね: 70%
ボカシ部分の外側からカラークリヤーボカシ部を馴染ませる様に1コートボカシ塗装



最終フラッシュタイム: 各クリヤーTDS参照



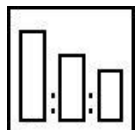
乾燥:
各クリヤーのTDS参照

- 注意:
- ・カラークリヤーボカシ部と完全に馴染む範囲まで塗装する
 - ・乾燥後は、P1500相当で軽くサンディングを行う事
(カラークリヤー部の色味が変化する為、必要以上にサンディングしない事)

LEXUS 3T5 補修塗装工程 クロマックス® プロ ベースコート 塗装



新耐スリ傷性向上クリアーコート塗装



クロマックス® 新耐スリ傷性向上クリアーコート
混合比はクリアーTDS参照



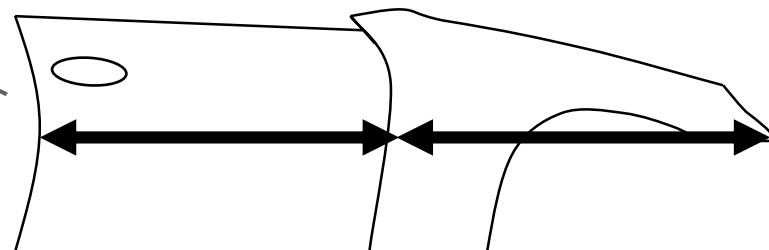
エア圧: 2バール 口径: 1.2-1.4mm
ガン距離: 15-20cm、パターン重ね: 70%
パネル全体に1コート塗装



最終フラッシュタイム: TDS参照



乾燥: TDS参照



注意: ・最終フラッシュタイムは十分にとること

SHINE ON.

CROMAX IS AN AXALTA COATING SYSTEMS BRAND

